

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園高等学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	数学 / 高3	Subject Area / Class 教科 / 科目	数学 / 数学演習 2	Class hours 時間数	4 時間 / 週
----------------------------------	---------	---------------------------------	-------------	--------------------	----------

1学期 中間試験 Term 1 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	数学 I A II B 総合演習	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	国公立および私大中堅 過去問
------------------------------	------------------	-------------------------------------	----------------

Unit Description 単元の概要	数学 I A II Bの総合演習を実施、国公立および私大中堅校の過去問を通じ、入試で得点できる力を養う。
---------------------------	--

Class Standards 評価規準			Learning Objectives 学習内容			
<b>楽</b>	<b>A3</b> ・目的に応じた数学的な表現、処理をすることができる	<b>B3</b> ・自分の考えを、数式や文章などの表記を活用して正しく簡潔に表現することができる	<b>C3</b> ・自分の考えを他者に論理的に伝え、表現できる ・他者の考えを聞き、分析、評価することができる	<b>A3</b> ・問題から最終的な答えの表現方法が想像できる。	<b>B3</b> ・問題を解く上で、途中過程を正しく記述することができる。	<b>C3</b> ・ひとつの問いに対して自身の考えを他者に表現したり、他者の考えを聞き、分析、評価をすることができる。
<b>好</b>	<b>A2</b> ・文章を、式やグラフ、図形などで表現することができる	<b>B2</b> ・状況に応じた推論の方法を正しく選択し、結論に至った経緯を論理的に説明できる	<b>C2</b> ・具体的な事象に潜む数学的な関係や法則を発見し、一般化することができる	<b>A2</b> ・問題で与えられた、式やグラフ、図形を理解することができる。	<b>B2</b> ・問題を解く上で利用した定理、公式についてなぜそれを利用したのか理解している。	<b>C2</b> ・難問に対し、数学的な関係や法則を発見したり、一般化することができる。
<b>知</b>	<b>A1</b> ・基本的な計算法則を身につける ・定義、定理、公式にあてはめて解を導くことができる	<b>B1</b> ・その問題に即した定理、公式を利用することができる ・証明技法を身につける	<b>C1</b> ・複数の解法を考える ・融合問題、思考力問題への探求	<b>A1</b> ・高校数学の基本的な定義、定理を理解している。	<b>B1</b> ・問題を解く上で適切な定理、公式がわかる。	<b>C1</b> ・融合問題を解くことができる。 ・別解を考えることができる。
	<b>Recognition</b>	<b>Logical Thinking</b>	<b>Creative Thinking</b>			

Others 備考	<p>&lt;評価方法&gt; 宿題、小テスト、定期試験、レポート</p> <p>&lt;ICT&gt; 数学 I A II Bの授業内外での演習についてiTunesUを利用して評価、フィードバックを行う。</p>
--------------	---

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園高等学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	数学 / 高3	Subject Area / Class 教科 / 科目	数学 / 数学演習 2	Class hours 時間数	4 時間 / 週
----------------------------------	---------	---------------------------------	-------------	--------------------	----------

1学期 期末試験 Term 1 Final

Name of Unit, Project 単元名	数学 I A II B 総合演習	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	国公立および私大中堅 過去問
------------------------------	------------------	-------------------------------------	----------------

Unit Description 単元の概要	数学 I A II Bの総合演習を実施、国公立および私大中堅校の過去問を通じ、入試で得点できる力を養う。
---------------------------	--

Class Standards 評価規準			Learning Objectives 学習内容			
<b>楽</b>	<b>A3</b> ・目的に応じた数学的な表現、処理をすることができる	<b>B3</b> ・自分の考えを、数式や文章などの表記を活用して正しく簡潔に表現することができる	<b>C3</b> ・自分の考えを他者に論理的に伝え、表現できる ・他者の考えを聞き、分析、評価することができる	<b>A3</b> ・問題から最終的な答えの表現方法が想像できる。	<b>B3</b> ・問題を解く上で、途中過程を正しく記述することができる。	<b>C3</b> ・ひとつの問いに対して自身の考えを他者に表現したり、他者の考えを聞き、分析、評価をすることができる。
<b>好</b>	<b>A2</b> ・文章を、式やグラフ、図形などで表現することができる	<b>B2</b> ・状況に応じた推論の方法を正しく選択し、結論に至った経緯を論理的に説明できる	<b>C2</b> ・具体的な事象に潜む数学的な関係や法則を発見し、一般化することができる	<b>A2</b> ・問題で与えられた、式やグラフ、図形を理解することができる。	<b>B2</b> ・問題を解く上で利用した定理、公式についてなぜそれを利用したのか理解している。	<b>C2</b> ・難問に対し、数学的な関係や法則を発見したり、一般化することができる。
<b>知</b>	<b>A1</b> ・基本的な計算法則を身につける ・定義、定理、公式にあてはめて解を導くことができる	<b>B1</b> ・その問題に即した定理、公式を利用することができる ・証明技法を身につける	<b>C1</b> ・複数の解法を考える ・融合問題、思考力問題への探求	<b>A1</b> ・高校数学の基本的な定義、定理を理解している。	<b>B1</b> ・問題を解く上で適切な定理、公式がわかる。	<b>C1</b> ・融合問題を解くことができる。 ・別解を考えることができる。
	<b>Recognition</b>	<b>Logical Thinking</b>	<b>Creative Thinking</b>			

Others 備考	<p>&lt;評価方法&gt; 宿題、小テスト、定期試験、レポート</p> <p>&lt;ICT&gt; 数学 I A II Bの授業内外での演習についてiTunesUを利用して評価、フィードバックを行う。</p>
--------------	---

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園高等学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	数学 / 高3	Subject Area / Class 教科 / 科目	数学 / 数学演習 2	Class hours 時間数	4 時間 / 週
----------------------------------	---------	---------------------------------	-------------	--------------------	----------

2 学期 中間試験 Term 2 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	数学 I A II B 総合演習	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	国公立および私大上位校 過去問 センター試験 過去問
Unit Description 単元の概要	数学 I A II B の総合演習を実施、国公立および私大上位校の過去問を通じ、入試で得点できる力を養う。 センター試験についても対策を行い、生徒個々の目標点以上得点できる力を養う。		

Class Standards 評価規準				Learning Objectives 学習内容		
楽	<b>A3</b> ・目的に応じた数学的な表現、処理をすることができる	<b>B3</b> ・自分の考えを、数式や文章などの表記を活用して正しく簡潔に表現することができる	<b>C3</b> ・自分の考えを他者に論理的に伝え、表現できる ・他者の考えを聞き、分析、評価することができる	<b>A3</b> ・問題から最終的な答えの表現方法が想像できる。	<b>B3</b> ・問題を解く上で、途中過程を正しく記述することができる。	<b>C3</b> ・ひとつの問いに対して自身の考えを他者に表現したり、他者の考えを聞き、分析、評価をすることができる。
好	<b>A2</b> ・文章を、式やグラフ、図形などで表現することができる	<b>B2</b> ・状況に応じた推論の方法を正しく選択し、結論に至った経緯を論理的に説明できる	<b>C2</b> ・具体的な事象に潜む数学的な関係や法則を発見し、一般化することができる	<b>A2</b> ・問題で与えられた、式やグラフ、図形を理解することができる。	<b>B2</b> ・問題を解く上で利用した定理、公式についてなぜそれを利用したのか理解している。	<b>C2</b> ・難問に対し、数学的な関係や法則を発見したり、一般化することができる。
知	<b>A1</b> ・基本的な計算法則を身につける ・定義、定理、公式にあてはめて解を導くことができる	<b>B1</b> ・その問題に即した定理、公式を利用することができる ・証明技法を身につける	<b>C1</b> ・複数の解法を考える ・融合問題、思考力問題への探求	<b>A1</b> ・高校数学の基本的な定義、定理を理解している。	<b>B1</b> ・問題を解く上で適切な定理、公式がわかる。	<b>C1</b> ・融合問題を解くことができる。 ・別解を考えることができる。
	<b>Recognition</b>	<b>Logical Thinking</b>	<b>Creative Thinking</b>			

Others 備考	<p>&lt;評価方法&gt; 宿題、小テスト、定期試験、レポート</p> <p>&lt;ICT&gt; 数学 I A II B の授業内外での演習について iTunesU を利用して評価、フィードバックを行う。</p>
--------------	--

MITA International School Syllabus 2018  
三田国際学園高等学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	数学 / 高3	Subject Area / Class 教科 / 科目	数学 / 数学演習 2	Class hours 時間数	4 時間 / 週
----------------------------------	---------	---------------------------------	-------------	--------------------	----------

**2 学期 期末試験 Term 2 Final**

Name of Unit, Project 単元名	数学 I A II B 総合演習	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	国公立および私大上位校 過去問 センター試験 過去問
Unit Description 単元の概要	数学 I A II B の総合演習を実施、国公立および私大上位校の過去問を通じ、入試で得点できる力を養う。 センター試験についても対策を行い、生徒個々の目標点以上得点できる力を養う。		

Class Standards 評価規準	Learning Objectives 学習内容																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;"><b>楽</b></td> <td style="width: 30%;"> <b>A3</b>                      ・目的に応じた数学的な表現、処理をすることができる                 </td> <td style="width: 30%;"> <b>B3</b>                      ・自分の考えを、数式や文章などの表記を活用して正しく簡潔に表現することができる                 </td> <td style="width: 35%;"> <b>C3</b>                      ・自分の考えを他者に論理的に伝え、表現できる                      ・他者の考えを聞き、分析、評価することができる                 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><b>好</b></td> <td> <b>A2</b>                      ・文章を、式やグラフ、図形などで表現することができる                 </td> <td> <b>B2</b>                      ・状況に応じた推論の方法を正しく選択し、結論に至った経緯を論理的に説明できる                 </td> <td> <b>C2</b>                      ・具体的な事象に潜む数学的な関係や法則を発見し、一般化することができる                 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><b>知</b></td> <td> <b>A1</b>                      ・基本的な計算法則を身につける                      ・定義、定理、公式にあてはめて解を導くことができる                 </td> <td> <b>B1</b>                      ・その問題に即した定理、公式を利用することができる                      ・証明技法を身につける                 </td> <td> <b>C1</b>                      ・複数の解法を考える                      ・融合問題、思考力問題への探求                 </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;"><b>Recognition</b></td> <td style="text-align: center;"><b>Logical Thinking</b></td> <td style="text-align: center;"><b>Creative Thinking</b></td> </tr> </table>	<b>楽</b>	<b>A3</b> ・目的に応じた数学的な表現、処理をすることができる	<b>B3</b> ・自分の考えを、数式や文章などの表記を活用して正しく簡潔に表現することができる	<b>C3</b> ・自分の考えを他者に論理的に伝え、表現できる ・他者の考えを聞き、分析、評価することができる	<b>好</b>	<b>A2</b> ・文章を、式やグラフ、図形などで表現することができる	<b>B2</b> ・状況に応じた推論の方法を正しく選択し、結論に至った経緯を論理的に説明できる	<b>C2</b> ・具体的な事象に潜む数学的な関係や法則を発見し、一般化することができる	<b>知</b>	<b>A1</b> ・基本的な計算法則を身につける ・定義、定理、公式にあてはめて解を導くことができる	<b>B1</b> ・その問題に即した定理、公式を利用することができる ・証明技法を身につける	<b>C1</b> ・複数の解法を考える ・融合問題、思考力問題への探求		<b>Recognition</b>	<b>Logical Thinking</b>	<b>Creative Thinking</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"> <b>A3</b>                      ・問題から最終的な答えの表現方法が想像できる。                 </td> <td style="width: 30%;"> <b>B3</b>                      ・問題を解く上で、途中過程を正しく記述することができる。                 </td> <td style="width: 40%;"> <b>C3</b>                      ・ひとつの問いに対して自身の考えを他者に表現したり、他者の考えを聞き、分析、評価をすることができる。                 </td> </tr> <tr> <td> <b>A2</b>                      ・問題で与えられた、式やグラフ、図形を理解することができる。                 </td> <td> <b>B2</b>                      ・問題を解く上で利用した定理、公式についてなぜそれを利用したのか理解している。                 </td> <td> <b>C2</b>                      ・難問に対し、数学的な関係や法則を発見したり、一般化することができる。                 </td> </tr> <tr> <td> <b>A1</b>                      ・高校数学の基本的な定義、定理を理解している。                 </td> <td> <b>B1</b>                      ・問題を解く上で適切な定理、公式がわかる。                 </td> <td> <b>C1</b>                      ・融合問題を解くことができる。                      ・別解を考えることができる。                 </td> </tr> </table>	<b>A3</b> ・問題から最終的な答えの表現方法が想像できる。	<b>B3</b> ・問題を解く上で、途中過程を正しく記述することができる。	<b>C3</b> ・ひとつの問いに対して自身の考えを他者に表現したり、他者の考えを聞き、分析、評価をすることができる。	<b>A2</b> ・問題で与えられた、式やグラフ、図形を理解することができる。	<b>B2</b> ・問題を解く上で利用した定理、公式についてなぜそれを利用したのか理解している。	<b>C2</b> ・難問に対し、数学的な関係や法則を発見したり、一般化することができる。	<b>A1</b> ・高校数学の基本的な定義、定理を理解している。	<b>B1</b> ・問題を解く上で適切な定理、公式がわかる。	<b>C1</b> ・融合問題を解くことができる。 ・別解を考えることができる。
<b>楽</b>	<b>A3</b> ・目的に応じた数学的な表現、処理をすることができる	<b>B3</b> ・自分の考えを、数式や文章などの表記を活用して正しく簡潔に表現することができる	<b>C3</b> ・自分の考えを他者に論理的に伝え、表現できる ・他者の考えを聞き、分析、評価することができる																							
<b>好</b>	<b>A2</b> ・文章を、式やグラフ、図形などで表現することができる	<b>B2</b> ・状況に応じた推論の方法を正しく選択し、結論に至った経緯を論理的に説明できる	<b>C2</b> ・具体的な事象に潜む数学的な関係や法則を発見し、一般化することができる																							
<b>知</b>	<b>A1</b> ・基本的な計算法則を身につける ・定義、定理、公式にあてはめて解を導くことができる	<b>B1</b> ・その問題に即した定理、公式を利用することができる ・証明技法を身につける	<b>C1</b> ・複数の解法を考える ・融合問題、思考力問題への探求																							
	<b>Recognition</b>	<b>Logical Thinking</b>	<b>Creative Thinking</b>																							
<b>A3</b> ・問題から最終的な答えの表現方法が想像できる。	<b>B3</b> ・問題を解く上で、途中過程を正しく記述することができる。	<b>C3</b> ・ひとつの問いに対して自身の考えを他者に表現したり、他者の考えを聞き、分析、評価をすることができる。																								
<b>A2</b> ・問題で与えられた、式やグラフ、図形を理解することができる。	<b>B2</b> ・問題を解く上で利用した定理、公式についてなぜそれを利用したのか理解している。	<b>C2</b> ・難問に対し、数学的な関係や法則を発見したり、一般化することができる。																								
<b>A1</b> ・高校数学の基本的な定義、定理を理解している。	<b>B1</b> ・問題を解く上で適切な定理、公式がわかる。	<b>C1</b> ・融合問題を解くことができる。 ・別解を考えることができる。																								

Others 備考	<評価方法> 宿題、小テスト、定期試験、レポート <ICT> 数学 I A II B の授業内外での演習について iTunesU を利用して評価、フィードバックを行う。
--------------	---